

研究課題名	高知県内におけるマダニの日本紅斑熱病原体の保有状況調査
研究の概要及び研究に用いる試料・情報の種類	<p>日本紅斑熱はダニに咬まれることによりリケッチアという微生物が体内に侵入して引き起こされる病気で、治療が十分に行われないと死に至ることもあります。高知県内の日本紅斑熱の検査は、医療機関の医師から県内の保健所長に依頼される行政検査であり、高知県衛生環境研究所で行っています。</p> <p>高知県衛生環境研究所では、平成31年（令和元年）度から令和5年度に日本紅斑熱感染を疑われる患者様から検査のために採取され、遺伝子検査を実施した検体（血液及び痂皮から抽出されたDNA産物）の残りを使い、県内で採集されたマダニから検出された日本紅斑熱病原体と遺伝子学的に比較する調査を行います。この調査では、患者様と日本紅斑熱を媒介するとされるマダニとの関連性を示すことにより、ダニ媒介性疾患の啓発及び予防、ひいては公衆衛生の向上に寄与することが見込まれます。</p> <p>検体は、付属する患者様の個人情報に含まれる記述等の一部を削除又は他の記述等に置き換えて特定の個人を識別できないようにしたうえで研究に使用しますので、氏名、住所等の個人が特定できる情報が流出することは一切ありません。</p>
研究期間	令和5年11月28日から令和7年3月31日まで
外部への提供	外部への試料・情報の提供はありません。
研究組織	<p>研究機関：高知県衛生環境研究所</p> <p>研究責任者：保健科学課 別役 信乃</p>
問い合わせ先	<p>所在地：高知市丸ノ内2丁目4番1号</p> <p>高知県衛生環境研究所</p> <p>電話：088-821-4963</p> <p>担当：保健科学課 別役 信乃（研究責任者）</p>

※該当の方からの申し出により、当研究への利用停止が可能です。